

学校規模適正化の取組について（経過報告）

関係各位

令和 7 年 11 月 5 日

西条市教育委員会 教育長 青野 信樹

学校規模の適正化の取組について、下記のとおり経過報告します。

本書は、一部で「すでに統廃合が決まっている」「取組が止まっている」といった誤解が生じていることから、その取組状況や今後の進め方をお知らせするものです。

現在、西条市学校適正規模・適正配置等審議会から答申書は提出されていますが、市全体の計画は策定されていません。現段階では、市長や教育長らがそれぞれの地域に出向き、広く市民と情報を共有し、ご意見を伺う「共有と対話」の段階に位置付けています。

地域によって進み方は異なりますが、話し合いの輪を広げることで協議の土壌づくりに努め、教育の専門性をもつ教育委員会と、まちづくりや財政を担う市長部局が、それぞれの強みを生かして緊密に連携し、具体的な計画づくりや課題の解決を図っているところです。こうした取り組みを通じて、地域住民と丁寧に対話を重ねながら、子どもたちにとってより良い教育環境を築いてまいります。

各校におかれましては、校内での十分な周知とともに、引き続きご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

記

1 これまでの経緯

令和 4 年 9 月に実施した保護者・教職員対象のアンケート調査に基づき、令和 5 年に市内のワーキンググループや検討委員会にて協議を開始。令和 6 年度には学識経験者や地域代表など 20 名による「西条市学校適正規模・適正配置等審議会」を設置。同審議会で 7 回の審議が行われ、令和 7 年 1 月 22 日、同審議会から答申書が提出されました。



2 進捗状況

現在、各地区の組織や公民館等と連携し、これまでの経緯や答申書の内容、今後の進め方について広く周知を図り、学校のあり方を地域に問うといった方法により、機運の醸成に努めています。

それぞれの地域ではコミュニティの形態が異なることから、形式にとらわれず、地域の実情に応じて柔軟な形で開催しています。またこうした取組と並行して、市が主催するタウンミーティング等も活用し、継続的な話し合いの場づくりに取り組んでいます。

3 今後の進め方（総合教育会議及び 9 月市議会発言要旨）

- 今年 8 月 26 日に開催された総合教育会議では、「子ども第一」「地域重視」「対話重視」を 3 つの基本方針とし、市長と教育委員会との間で合意がなされました。この 3 つの基本方針をもとに、広く市民に参加を呼びかけながら、地域とともにこれからの学校教育のあり方を検討していきます。
- 市長部局と教育委員会が緊密に連携し、一体となって地域の皆さんと同じ目線で課題に向き合い、信頼関係を築いていきます。
- 審議会からの答申は重く受け止めつつ、これを議論の出発点とし、地域の多様な声を丁寧に拾いながら具体的な計画づくりと課題の解決を図ります。
- 当該計画の策定・スケジュールについては、地域ごとの進捗状況を踏まえながら検討していきます。
- 今後も地域に足を運び、広く住民を対象とした話し合いを継続的に開催し、地域での機運の高まりに応じて、協議の中心となる協議体の設置を目指します。
- 協議体は、当該計画の策定とあわせて、豊かで持続可能な学校教育の実現を目指し、統廃合を前提とせず、多様な可能性を探る場とします。
- 地域の理解と合意なくして前に進めることはできません。計画策定にあたっては保護者や若い世代の方々にも参加いただき、地域の合意形成を重視しながら、話し合いを重ね、それぞれの地域での方向性をまとめます。
- 小規模校が抱える課題には、地域と連携して優先的に取り組みます。同時に、小規模特認校制度や小中一貫教育など、特色ある教育の在り方も検討していきます。

※ 進捗状況や具体的な取組内容は地域ごとに異なる場合あり。

4 その他（同上）

各地域での取組状況については、可能な範囲で情報共有させていただきます。本取組に関してのご意見やご要望がございましたら、どうぞお気軽に下記までお寄せください。

なお、校区内での動きなどございましたら、あわせてお知らせいただけると幸いです。

〒793-8601 西条市教育委員会事務局 学校政策課 渡部  
TEL : 0897-56-5151（内線 5334）  
Mail : gakkoseisaku@saijo-city.jp